

令和7年 1月 8日

南の風 529

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

謹賀新年 本年も南の風 よろしくお祈りします！ 昨年度の528号の続きです。

原則を整理して構築することで「何をやろうとしているのかわからない」「何でそうなるのかわからない」ということがなくなるのです。具体例で言うと、チャンスなのに攻めない、あるいは見方が困っているのに助けない、といったことがなくなってきます。しかし、そのような原則が整理されていないと、選手もなにをしていいかわからず、コーチのほうも「何をやろうとしているのかわからない」フラストレーションとなり、選手も余計に委縮してパニックになるという悪循環に陥ってしまいます。

②ゲームモデルの必要性

☆なぜゲームモデルが必要か

なぜゲームモデルが必要なのかといえば、ゲームモデルを持つことで、ゲームや個々のプレーの解像度がより上がるからです。ここでいう「解像度」とは「鮮明さ」あるいは「わかりやすさ」とも言い換えられます。解像度が上がれば、ゲームや個々のプレーがより現実的になり、実現可能な理想を見いだせるからです。

また個人が理想とするバスケットボールと、ゲームモデルの違いは、理想（プレーイングアイデア）と現実には明らかな違いがあると踏まえているとどうかです。理想はゲームモデルの骨格ではありますが、ゲームモデルそのものではありません。骨格だけのゲームモデルは根拠にはなり得ますが、同時に肉付けも必要になってきます。それが文化や土壌、資金、練習環境、選手のレベルなどです。つまり理想を持ちつつ、チームが勝つために最適なゲームモデル何かを考える必要があるのです。**ゲームの目的は勝つことであり、理想の追求できません。**

☆育成年代のゲームモデル

どんなチームであれ、コーチの目の前にあるチームの理想型を「ゲームモデル」として示します。しかし育成年代のチームはほとんどの場合、1年ごとにメンバーが変わります。例えば前年は背の大きい選手が多く、サイズをいかしたゲームモデルをつくっていたけれども、その選手たちが卒業すると、背の小さい選手しかいなくなることもあるでしょう。

サイズが小さくてもペイントエリア内にボールを集めることが、そのチームにとって適していると思えば、それを選択すればいいですし、そうでなければゲームモデルを改めるのも良いでしょう。**大切なのは、どちらが成果を出せるか、です。理想よりも成果を見て、その成果から逆算して戦略を立てるのが「ゲームモデル」**です。

それは理念とも言えます。判断に迷ったとき、自分たちのアイデンティティは何なのかを確かめる座標軸のような位置づけが「ゲームモデル」というわけです。

③戦いのコンセプトとは

戦い方のコンセプトとは、具体的にどういったものでしょうか。

次号で「自分たちのチームの理想」について触れます。